

◆今月の主な内容◆

- 住み慣れた地域で笑顔で暮らす……○2
- 第26回市民アンケート結果報告……○6
- 下水道のはなし……○8



獅子、疾走中！

7月19日、20日、21日に網代地区で行われた阿治古神社例大祭。地区内を駆け抜ける獅子や御神船「兩宮丸」の勇壮な姿に、訪れた市民や観光客が魅了されていました。

8

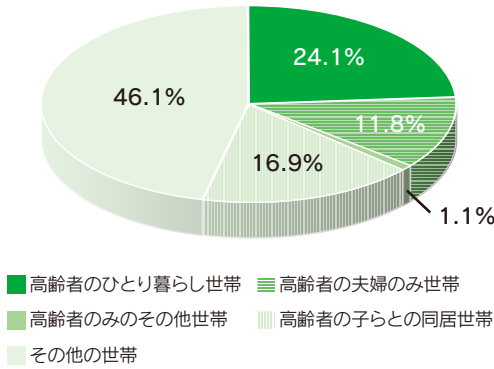
2014

住み慣れた地域で笑顔で暮らす

わが国では、人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）が平成24年10月には24・1%と超高齢社会を迎えています。そのようななかで、熱海市は平成26年3月末には42%を超え、県下の市では最も高い状況にあります。

特に本市は、総世帯に占める「高齢者のひとり暮らし世帯」の割合が24・1%と静岡県内の11・3%と比較して非常に高く、4世帯に1世帯が高齢者のひとり暮らし世帯という状況にあります。また、高齢者の夫婦のみ世帯も11・8%を占め、どちら

総世帯に占める高齢者のいる世帯 (H26.3月末)



か一方がお亡くなりになると、ひとり暮らしととなってしまいう可能性がります。

社会的孤立とは

高齢者の多くは健康で、家族や地域とのつながりを持ちながら生活されていますが、なかには、日常的に社会との交流のない孤立した生活を送っている人もいます。

社会的孤立の背景として、高齢者のひとり暮らし世帯・高齢者の夫婦のみ世帯の増加や、生活の利便性の向上などにより健康なうちは家族や地域の人たちと交流をしなくても、商品やサービスを利用すれば生活が成り立つことなどによる地域社会との関係の希薄化があげられます。

社会的孤立は、「自身が認知症になったことに気づかず、必要な介護サービスや行政サービスにつながらない」「困ったときに相談できる相手がいなかったため詐欺被害に遭う」「亡くなったあと数週間発見されない孤死」など、さまざまな問題を生じさせる要因となります。



元気なうちから社会とのつながりを

住み慣れた地域で社会から孤立することなく安心した生活を営むためにも、日ごろからのご近所づきあいや友だち・趣味仲間との交流、ボランティア活動への参加など、社会とのつながりが重要です。

市や社会福祉協議会などでも、健康づくり教室や生涯学習講座、地域でのサロン活動など、楽しんで参加していただける交流の機会を用意していますので、ぜひご参加ください。

地域で健康で暮らしていくために

住み慣れた地域で健康に暮らしていくことは誰もが願うことです。しかし健康を崩してしまうと自立した生活を送れず、地域で生活することが困難になることもあります。

平成22年の本市のお達者度（65歳の平均自立期間）は18・2年と県下で最も低い状況で、元気なうちから、一人ひとりが自らの心身に対する意識を高め、日常の健康管理の重要性や生活習慣の改善などに取り組むことが重要です。

皆さんの健康づくりを 応援する教室

健康づくり室では、市民一人ひとりに健康増進を図っていただくため、「膝痛・腰痛を楽にする教室」や「からだの軸を鍛えるための教室」などの皆さんの健康づくりを応援する教室を実施しています。

毎月、広報あたみの10～11ページで募集していますので、ぜひご参加ください。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座とは、認知症について、正しく理解をしてもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらうことで、誰もが暮らしやすい地域を作っていくための講座です。

町内会、学校、職域、企業などでお申し込みいただければ講師を派遣しますので、お問い合わせください。



認知症サポーターの印
オレンジリング

熱海市敬老大会

健康と長寿を祝い、楽しい一日を過ごしていただくために敬老大会を開催します。

日時：10月28日(火) 旧市内および初島地区
29日(水) 南熱海地区および
泉・伊豆山地区

両日ともに11:00～(受付開始10:30)

場所：ホテルニューアカオ2階「錦」
参加費：500円 対象者：70歳以上の人
申込方法：町内会を通じて申込書(今月号と同時
に配布)にて、または長寿総務室窓口へ



地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で生活していくために、介護サービスをはじめ、福祉・医療などのさまざまなサービスを適切に利用するための総合的な支援をします。

～こんなときはご相談ください～

一緒に住んでいる母が閉じこもりがち、近所に住んでいる高齢者の暮らしが心配など…

◆旧市内地区

熱海地区地域包括支援センター
熱海市銀座町1-24
☎ 0557(86)0005

◆多賀・網代地区

南熱海地域包括支援センター
熱海市下多賀817-2 103号室
☎ 0557(67)7600

◆泉・伊豆山地区

泉・伊豆山地域包括支援センター
熱海市伊豆山717-1
☎ 0557(80)5566

お問い合わせ

長寿総務室

☎ 0557(86)6321

つながりから、支え合いへ

また、認知症は高齢者になるとかかりやすい病気で、国の推計によれば高齢者の約15%が認知症有病者であると公表されています。この認知症も身体を動かすことで、発症リスクが軽減するといわれています。
本市においては、介護予防事業として、「健幸チャレンジ」を実施し、皆さんの健康づくりを応援する教室への参加や、各種健康診査受診勧奨を推進するための事業を展開していきます。

認知症の早期発見や見守りのためにも、地域住民の互いの「目配り、気配り」が大切です。
今後さらに、地域住民の皆さん、民生委員、地域包括支援センター、民間事業者、行政との連携を深め、高齢者見守りネットワークの拡充や、地域包括ケアシステムの構築など、住み慣れた地域で笑顔で暮らすための体制を整えていきます。



高齢者の現状と今後について

齊藤市長が新庁舎の市長室で、地域に密着し見守りや相談支援活動をしている山口熱海市民生委員児童委員協議会長と、地域住民の情報などを通じて高齢者に必要なサービスをつなぐ役割を担う浦田熱海地区地域包括支援センター長のお二人とお話しました。

孤立化という課題

市長 熱海市は高齢化率が40%を超えていることは、よく言われていることですが、熱海市の特徴は全世帯に占めるひとり暮らし高齢者世帯の割合が飛びぬけて多いところです。約四分の一の世帯が高齢でひとり暮らしということですから、何らかの交流の機会がないと孤立することが懸念されます。山口会長も浦田センター長も日ごろから高齢者の皆さんと接する機会が多いと思いますが、どのように感じていらっしゃいますか。

山口 私たち民生委員はそれぞれ担当地区をもっています。地域によってさまざまな環境がありますので、孤立化という面では状況が異なっていると思います。南熱海地区などのように、ご家族との同居が比較的多い地域もあれば、市街地のアパートなどが多いところでは、ひとり暮らしの高齢者の人が多い地域もあります。**浦田** 山口さんがお話されたとおり、地域によって環境が異なると思います。市街地のアパートなどは、昔、観

光産業で最も栄えていた時代に、他県から観光事業に従事するために転入され、住み込みで働いた人も多く、高齢になったり体調を崩したりして、お仕事を辞めたことを契機に、一人で生活をしている人が多いと感じます。また、お子さんの同居が多い地域もありますし、地域での結びつきが強い地域などもあります。

孤立化の何が問題なのかというと、ひとり暮らしで近所とまったく交流がないような場合、火の不始末などのように問題が大きくなると外に見えてこないところだと思います。

市長 孤立化と認知症というのは、やはり関連しているのですか。

浦田 そうですね、関連する部分もあります。外部との交流があれば予防もでき、早期に認知症に気づいてもらえ、投薬などにより進行を遅らせることも可能です。

また、地域や親族から孤立していると、認知症になったときに、どのように支援していくかということも問題になってきます。

認知症になってからでは、ご本人から聞き取りができないということもありますので、お元気なうちから関わっていくということが重要であると思います。

山口 本当にそうだと思います。私たち民生委員も、毎年春に高齢者の

基礎調査をしたり、日ごろから訪問活動をしたりして、緊急の連絡先や健康の状態などを把握することに努めています。でも、最近はおートロツク式のマンションで戸別に訪問できないことや、住民登録がない場合もあり、把握するのは大変です。

地域での交流と見守り活動

市長 市の施策としても外出のきっかけ作りとして敬老大会の開催や、交通不便地域において健康と福祉出張相談会の開催をしていますが、それは点であり、すべてに対応するものではありません。孤立化を防ぐためには、どのような施策が必要だとお考えですか。

山口 社会福祉協議会の支援で「ふれあいいきいきサロン」が市内10カ所地域住民が主体となって開催されています。私の町内でも毎月1回、



熱海市民生委員児童委員協議会

山口 弘子 会長

平成3年3月に民生委員児童委員を委嘱され、現在9期目。平成13年12月から熱海市民生委員児童委員協議会の理事に就任し、平成25年12月より現職。

料理教室や音楽鑑賞、湯楽Y・O・U楽体操のような五感に訴え、参加者が楽しいと感じてもらえるような企画をして開催しています。地域での交流の機会にもなりますし、見守りにもつながっているのです。今後は他の地域でもサロンが増えていけばいいなと思っています。

浦田 先ほど山口さんがお話されたとおり、民生委員さんが、元気なうちから高齢者の人の緊急連絡先を聞いていただいていたたり、お話を伺っていただいていたりするところが、いざというときに、私たち地域包括支援センターが支援につなげる際にも役立っています。

私たちもなるべく、元気なうちから関わりをもちたいと思っていますので、地域の皆さんが運営するサロン活動に、協力していきたいと思っています。



熱海地区地域包括支援センター

浦田 民恵 センター長

平成23年1月に熱海市で初めて委託した地域包括支援センターである南熱海地域包括支援センター長に就任。平成25年4月より現職。

山口 認知症という病気に対する理解が、まだ足りないようにも感じています。私たち民生委員も受講したことがあります。私たちが民生委員も受講したことがありますが、認知症サポーター養成講座を受講していただき、ご家族や地域の人にもっと認知症に対する理解を深めていただければと思います。

浦田 地域で認知症に対する理解が広まれば、見守りの目が増えることにつながり、高齢者にとっても住みやすい街づくりにつながっていくと思います。認知症サポーター養成講座の講師をできる者が、私たち職員にもおられます。少人数でも構いませんので、ぜひお声をかけていただければと思います。

高齢者施策に大切なこと

市長 地域の見守りの目を増やしていくことは、重要なことですね。

今後の高齢者の施策として必要なことがあったら教えていただけますか。
山口 先ほどもサロン活動のお話をしましたが、食というのは一番大切だと思っています。「人」を「良」くすると書いて「食」という漢字になります。料理教室などをやると楽しいからおもしろいと感じる。その繰り返しで元気になる。そういうことを地域でやっていきたいと思います。

浦田 今後、高齢化率がますます進展していくなかで、元気な高齢者の皆さんには、地域での役割を担っていただくようなことが必要であると感じています。

一方で、外に助けを求められない人を、どう支援していくか、とても問題になっていると思います。

市長 今年度より65歳以上の介護認定を受けていない人を対象に実施している「基本チェックリスト」の回答結果をもとに、閉じこもりや、認知症の傾向が心配される人に対して保健師の訪問事業を始めます。外部との交流をあまりもたない人を早期に福祉サービスなどにつなげるための事業です。保健師2名で行う予定ですし、基本チェックリストを提出されていない人へのフォローもありますので、地域包括支援センターや民生委員さんと連携を図って、厚みをもたせていきたいと思います。

市民の皆さんの生活実感や市政に対するご意見・ご要望などをお聞きして、行政を進めるうえでの参考資料とするため、平成元年から毎年「市民アンケート」を実施しています。

今年度もアンケートへのご協力、ありがとうございました。広報では、その結果の抜粋をお知らせします。

基本設計 市内にお住まいの20歳以上の人を、男女別、年代別、地域別に分けて、無作為に約2,000人を抽出。5月2日から5月16日にかけて実施。

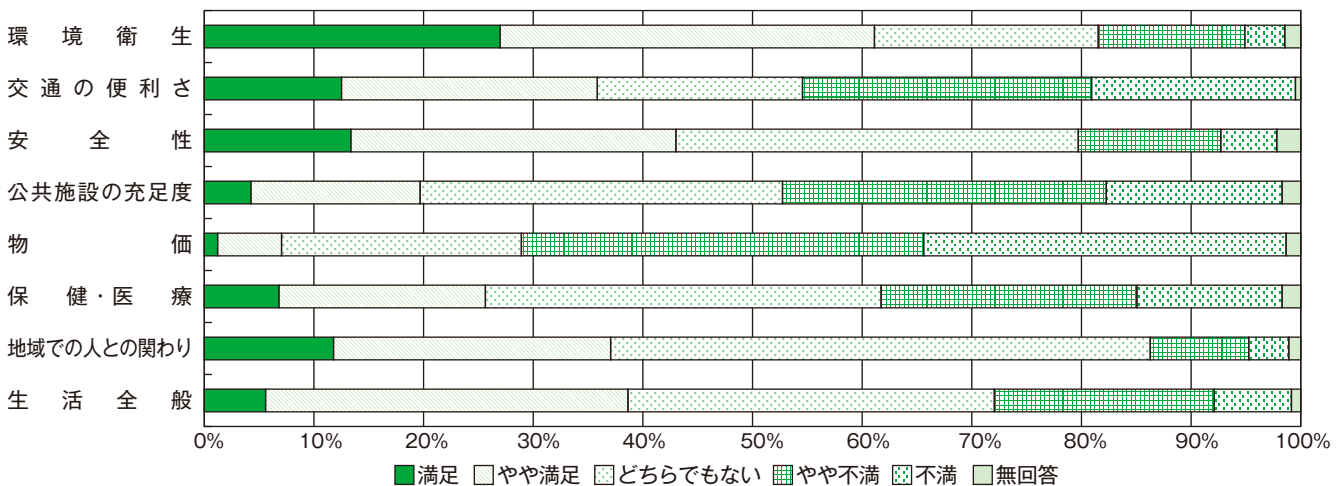
回答件数 823件 (41.8%)

※詳しい調査結果は、熱海市ホームページおよび市民協働推進室でご覧いただけます。

問い合わせ 市民協働推進室 ☎0557(86)6201

●生活実感について

日常感じている生活実感について、項目ごとの「満足度」という形でお尋ねしました。

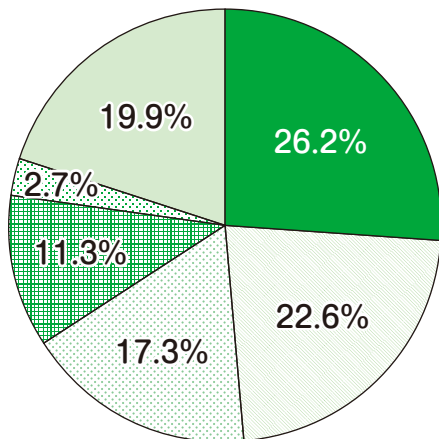


「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、1番高い環境衛生に関しては61.1%となっていますが、1番低い物価に関しては7.0%と項目によってばらつきがあります。

●地域福祉の現状について

地域との関わり合いなどについてお尋ねしました。

地域に住んでいる方々が互いに理解し、安心して暮らせるつながりを築くのに、最も必要だと思うものはなんですか？



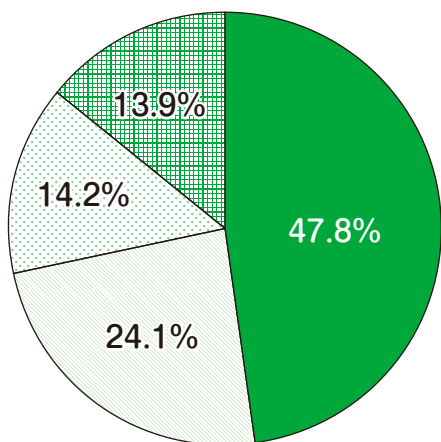
■ 地域住民が交流する機会の充実	216人
■ 気軽に集まれる場所の整備	186人
■ 地域福祉(住民が互いに支えあう)の啓発	142人
■ 地域における担い手(リーダー)の育成	93人
■ その他	22人
■ 無回答	164人

このアンケート結果などを参考に、地域福祉計画の見直しを行っていきます。

● 図書館・市民ホールの建設について

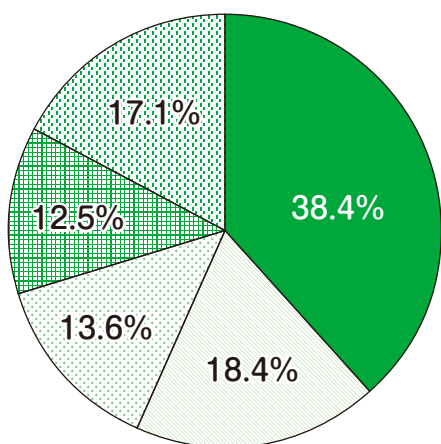
現在の図書館の規模や旧観光会館ホールの概要を参考に図書館・市民ホールについてお尋ねしました。

図書館の規模はどれくらいのものが必要ですか？



	現図書館と同規模	393人
	現図書館より大きい物	198人
	現図書館よりコンパクトな物	117人
	無回答	115人

市民ホールの規模はどれくらいのものが必要ですか？



	旧観光会館ホール(600人)と同程度	316人
	400~500人程度	151人
	200~300人程度	112人
	その他	103人
	無回答	141人

◆現在の熱海市立図書館の概要 東京電力(株)熱海事務所(上宿町14-20)建物内
 図書館部分3~5階 約2,500㎡ 賃借料 年間約2,600万円
 蔵書数19万1,000冊(平成24年3月末現在)

◆旧観光会館(平成23年3月閉鎖)の概要
 鉄筋コンクリート造4階建て 延べ面積約1,800㎡ 座席数600席
 閉鎖される前の利用状況(平成22年度)58件 延べ1万2,000人 平均206人/件
 (内訳300人以上2件、400人以上1件、500人以上0件の利用)

図書館は「現図書館と同規模」が、市民ホールは「旧観光会館ホールと同程度」が、それぞれ一番多い回答でした。現在「公共施設の整備に関する検討委員会」を公開で開催し、上宿町市有地の利活用を検討中です。今回の回答は今後の計画の参考とさせていただきます。

熱海市の下水道事業の始まり

熱海市の下水道事業は、昭和25年に国際観光温泉文化都市建設法の適用を受け、昭和27年7月に完成した渚簡易処理施設で熱海地区の排水処理を開始したのが始まりです。



下水道のはなし

その後、戦後の急激な経済成長に伴う第三次産業の発展や、全国的な河川・海洋の水質汚濁の問題、レジャーブームによる観光客の増加もあつたため、本格的な分流式による浄水管理センターを錦ヶ浦に隣接する地に建設することになりました。しかし住民の一部から建設反対の運動が起こつたことから、風致を阻害しないような地下構造で処理施設の上に観光施設（現在の熱海後楽園ホテル）を設置、臭気の防止や脱臭に十分な対策を行うことよつて、理解を得ることができ、昭和40年8月から錦ヶ浦終末処理場（現在は廃止）で処理を開始しました。

浄水管理センターの誕生

昭和55年には、汚水量の増大、排水の上乗せ規制の実施により終末処理場の増設に着手しました。建設に当たつては、工期が短く早期の処理が可能なことや、観光地であるので現地作業が少なく周辺環境を阻害しないことなどを考慮したうえで、処理施設を横浜市の造船所で建設し、熱海まで船で運びました。この施設は昭和60年7月に完成し供用を開始、現在の浄水管理センターが誕生しました。

各地区の下水道事業

泉地区では、湯河原町に処理を委託し昭和61年から浄化処理を行っています。

伊豆山地区では、効率的な維持管理や事業運営のために平成8年度から浄水管理センターに生活排水を集める整備を開始し、中継ポンプ場の建設などを経て平成15年6月から供用を開始しました。

南熱海地区では、伊豆山地区と同様に浄水管理センターに生活排水を集め浄化することとし、平成14年度の南熱海中継ポンプ場などの完成により、平成15年から上多賀地区の一部で、平成18年からは下多賀・中野地区の一部で供用を開始しました。

浄水管理センターについては、設備の更新などを行い、安定した下水道処理を行っています。

熱海市の下水道事業の特徴

熱海市では汚れた水と雨水を分け、雨水を除いた生活排水や事業排水を下水道管に流す「分流式排水方式」を採用しています。また処理区は、大きく分けて2つあり、1つは和田浜南町の浄水管理センターで処理を行う旧熱海市内、伊豆山地区、南熱海地区の「熱海処理区」、もう1つは泉地区の「泉処理区」です。

下水道は生活排水や事業排水を下水道管に流して処理施設（浄水管理センター）で水を再生します。そのため、海や河川、側溝を汚すことなく、熱海のきれいな海や河川を守るとともに、ハエや蚊などの害虫や悪臭が消えて、衛生的で快適な生活も守っています。

9月10日は下水道の日

熱海市では「下水道の日」にあわせ、下水道に対する市民の皆さんの理解と関心を深め、下水道を正しく利用していただけるよう、今年も下水道の日に活動を行います。毎年9月10日は「下水道の日」として全国的に下水道普及促進活動が行われています。熱海市では、9月8日(月)～12日(金)を「熱海市下水道週間」と定め、PRの一環として「戸別訪問」や「排水設備パトロール」などを予定しています。

戸別訪問：9月8日(月)～12日(金)

公共下水道へ接続可能な地域で、まだ接続をされていないお宅に下水道課職員が接続のお願いに伺います。

排水設備パトロール：9月10日(水)

排水設備や除外設備(グリストラップなど)が適切に維持管理されているか、パトロールをします。

そのほか、熱海市内の小学校などへの「下水道出前授業」や「施設見学」を随時、受け付けています。

熱海市の公共下水道普及率は、平成26年3月31日現在で65.6%です。下水道はきれいな水をよみがえらせ、海や川などの水環境を守ってくれています。公共下水道への接続が可能なお宅は、接続をお願いします。

▶油が下水管にこびりついている様子



◀取り除いた油



油ゼロ・キャンペーン

油分を下水に流すと宅内の排水管や下水道管の詰まりの原因になり、汚水が道路上に流れ出ることで、歩行者や自動車の通行の障害になることも、不衛生になります。また、下水道の中継ポンプ場や下水処理場へ流れ込むと、設備に障害を及ぼし維持管理に支障がでます。

飲食店や一般家庭の台所から油がたくさん下水道には流れ込んでいます。次のような工夫で、油による下水道事故防止にご協力ください。

- ① 残り油はオイルポット(濾し器)などに移し、使い切るようにしましょう。
- ② 古くなった残り油は古紙で吸い取るか、固めて燃えるゴミとして出しましょう。
- ③ フライパンやお皿の油污は、古紙で拭き取ってから洗うようにしましょう。

9月7日は熱海市長選挙の投票予定日です

投票時間 午前7時～午後8時(初島は9月6日(土) 午前7時～午後4時)

投票できる人 平成6年9月8日までに生まれた人

平成26年5月30日までに熱海市に住民登録の届出をした人

投票日まで、引き続き熱海市の選挙人名簿に登録されている人

投票所(期日前投票所)変更のお知らせ【重要】

第16投票区投票所が網代公民館から網代小学校食堂に変更になります。

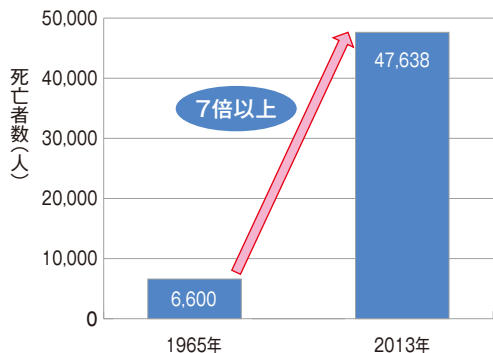
伊豆山地区の期日前投票所が伊豆山出張所から仲道公民館に変更になります。



期日前投票	期間	場所	時間
	9月1日(月)～6日(土)	熱海市総合福祉センター3階	午前8時30分～午後8時
	9月2日(火)	仲道公民館(伊豆山)	午前8時30分～午後4時30分
	9月3日(水)	南熱海支所	午前8時30分～午後4時30分
	9月4日(木)	泉公民館	午前8時30分～午後4時30分

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎0557(86)6670

大腸がんによる死亡者数(全国)



大腸がんによる死亡者数は、48年間で7倍以上増加しています。

ひとりでではありません

胃がんと大腸がん

検診の受診率

胃がんと大腸がんは肺がんに次いで日本人に多いがんです。

胃がんによる死亡者数は一貫してほぼ横ばいですが、大腸がんによる死亡者数は48年間で実に7倍以上増加しています。

熱海市では、がんになる人が増えているにもかかわらず、平成23年度胃がん検診の受診率はたったの14.2%、大腸がん検診の受診率は16.3%でした。どちらも簡単に受けられる検診なのに、とても残念な結果です。

がんは早期発見できれば出来るほど治癒率が高まります。検診受診率の低さは、死亡率の高さに大きく影響しているのです。

原因について

胃がんの大きな原因といわれているのは、人の胃の中に生息している

ピロリ菌の感染です。ピロリ菌の感染から萎縮性胃炎を引き起こし、がん化するといわれています。胃炎などを繰り返す場合は、ピロリ菌の有無を血液検査で調べることが可能なので、かかりつけ医と相談してください。

大腸がんが急増している原因としては、食生活が和食中心の食事から高脂肪・高カロリーの食事に変化していることや、喫煙習慣が挙げられます。それに加えて大腸がんは比較的遺伝しやすいのも特徴です。

診断後の治療について

早期の胃がん・大腸がんならば、内視鏡や腹腔鏡を使って開腹せずにがんの部分を取り除く手術が可能です。しかし、がんが進行してしまった場合は、開腹して胃や腸、その他広い範囲を取り除く大がかりな手術になる場合もあります。状況によっては、化学療法や放射線療法なども

行われます。

術後については、個人差がありますが、さまざまな後遺症が起きたり、飲食や排便などの生活活動が変化したり、また回復がうまく進まず入院を繰り返してしまう人も少なくありません。治療が長期間に及ぶと、今まで当たり前だと思っていた生活にも影響が出てきます。

「自分だけは大丈夫」と思わずに、必ず毎年がん検診を受けることこそが、がんから自分を守る、たった一つの手段なのです。

ご存知ですか!? 大腸がん検診無料クーポン

毎年、大腸がん検診が無料で受けられるクーポンを対象者に送付しています。無料クーポンの対象者はピンク色の市民健康診査受診券の「受診の可否」の欄に「無料クーポンが8月に届きます」と印字されている人です。平成25年度は対象者のうち1割程度しか受診されませんでした。無料で受けられるチャンスを逃さず、ぜひ受診してください。

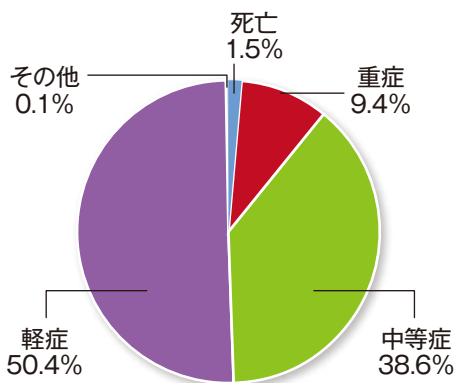
9月は 地域医療を考える月間です

9月9日は「きゅうきゅう」の語呂合わせから「救急の日」です。また、「救急の日」を含む1週間を「救急医療週間」と厚生労働省で定めています。

「救急の日」「救急医療週間」は、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めることを目的としています。

消防統計を見ると、救急車により搬送された人の全国集計は、517万8862人（平成23年）で、そのうち入院や治療を必要としない人の搬送は全体の半数以上となっています。

傷病程度別搬送人員(全国:H23年)



熱海市 救急の日イベント2014

救急医療に関する情報の発信、適正な救急医療の利用、救急隊活動のPRを目的に「救急の日イベント2014」を開催します。当日は、熱海所記念病院院長 杉浦 誠 医師の講演や熱海市消防本部の救急救命講習が行われます。

日時：9月11日(木)午後1時30分～3時30分

場所：第三庁舎 第1会議室 定員：50人(先着順)

申込期間：8月25日(月)～9月10日(水)

※健康づくり室に電話でお申し込みください。

す。最近、軽い症状で救急車を呼んだり、タクシー代わりに呼んだりすることが問題になっています。緊急でない出勤により、本当に救急車が必要な人への到着時間が長くなります。この機会に、救急医療について考えましょう。

健康を考える教室① 生涯骨太ノカルシウムアップ

参加者募集

はつらつキッチン恒例の「健康を考える教室」シリーズ第一弾です。今回のテーマは、骨粗しょう症予防。大人も、子どもからお年寄りまで、どの年代にも不足しがちなカルシウム。牛乳・乳製品を使ったメニューで、バランスよい食事を心がけましょう。超音波骨密度測定も行います。

日時 9月9日(火) 午前10時～

午後1時30分

場所 いきいきプラザ4階調理実習室

内容 超音波骨密度測定、ミニ講座「骨粗しょう症を予防するために」、牛乳・乳製品を使った調理実習

参加費 900円(当日徴収)

持ち物 エプロン、三角巾(大きなハンカチ)、手ふきタオル

募集人数 30人(定員になり次第締め切り)

申込締切 9月2日(火)

主催 熱海市健康づくり食生活推進協議会



参加者募集

皆さんの健康づくりを

応援する教室

○ 膝痛・腰痛を楽にする教室

筋力をつけて膝と腰の痛みを和らげる教室です。膝痛腰痛の予防にも効果的。毎週1回、全5回です。

対象者 65歳以上の人

定員 20人(応募者多数の場合抽選)

場所・日時

いきいきプラザ

9月5日、12日、19日、26日、

10月3日(毎週金曜日)

午後1時30分～3時30分

申込期限 8月28日(木)

南熱海マリンホール

10月6日、20日、27日、11月

10日、17日(毎週月曜日)

午後1時30分～3時30分

申込期限 9月29日(月)

○ 身体の歪みと筋力測定

身体の傾き具合を写真で確認できます。自分にあった簡単な体操指導も受けられます。

対象者 65歳以上の人

日時 10月1日(水)

午前10時～午後3時(所要時間約30分 予約制)

場所 南熱海マリンホール

定員 30人(先着順)

申込受付 9月1日(月)から

募集科：機械技術科、情報技術科、電子技術科（各科とも2年制訓練）

申込期間：10月27日(月)～11月14日(金)

試験日：11月21日(金)

対象：就職に意欲のあるおおむね30歳以下の人

定員：各科20人

入校検定料：2,200円

選考方法：学科試験（数学ⅠA程度）、面接

第32回 紙感謝祭

文化交流室 ☎0557(86)6234

熱海市文化団体連合会では、今年も紙感謝祭を開催します。

今年の講演は、慶應義塾大学の中島圭一教授をお迎えして、「価値を運んだ紙—古代の切符から近代の貨幣まで—」と題し、「どうして紙が金・銀やお米などのかわりにお金になるんだろう？」という素朴な疑問から経済の本質に迫ります。

事前申し込みおよび参加費は不要です。皆さんお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

日時：9月23日(火祝)
午後1時

場所：起雲閣音楽サロン

内容：式典・講演会

防火管理講習 甲種新規

日本防火・防災協会 ☎03(3591)7121

いきいきプラザ多目的会議室を会場に、日本防火・防災協会の主催による防火管理講習を次の日程で実施します。

防火管理者の資格を取得したい人は申し込みのうえ、受講してください。

第1回

講習日：9月17日(水)・18日(木)

申込期間：8月19日(火)～22日(金)

第2回

講習日：10月1日(水)・2日(木)

申込期間：9月1日(月)～4日(木)

詳細はお問い合わせください。

個人事業税の納期限(1期)は9月1日(月)です

熱海財務事務所個人事業税担当 ☎0557(82)9086

個人事業税は、商店の経営や不動産貸付などを行っている人で、一定の基準を満たす場合にかかる県税です。

お近くの金融機関、郵便局、コンビニエンスストアで納付することができます。

詳細については、送付される個人事業税納税通知書をご覧ください。

個人事業税は納期限までに納めましょう。

宝くじ助成金で

祭典御仮屋修繕

一般財団法人自治総合センターが行う平成26年度宝くじ助成を受けて、網代の栄町町内会が祭典御仮屋を修繕しました。



自衛官募集

防衛医科大学医学科学生、防衛医科大学看護学科学学生、防衛大学校学生（一般前期）を募集します。

資格：平成27年4月1日現在、18歳から20歳までの高校卒業または卒業見込みの人

申込期間：9月5日(金)～30日(火)

試験日：【防衛医科大学医学科学生】 11月1日(土)・2日(日)
【防衛医科大学看護学科学学生】 10月18日(土)
【防衛大学校学生(一般前期)】 11月8日(土)・9日(日)

詳しくは、自衛隊伊東地域事務所 ☎0557(37)9632または、インターネットで「静岡地本」を検索してください。

統計情報



6月末の人口

人口	38,685人	世帯数	21,340世帯
男	17,474人	人口前月比	△44人
女	21,211人		

6月のごみ量

可燃ごみ	約1,648ト	人口1人1日排出量	
その他	約295ト	熱海市	約1,674g
合計	約1,943ト	全国	約963g
対前年比	101.5%	全国は24年度平均データ	

お知らせ

平成27年度採用 熱海市職員採用資格試験

人事研修室 ☎0557(86)6037

熱海市では、平成27年4月1日採用予定の試験を実施します。

職種：①一般事務（短大卒・高校卒）、保健師、消防

②土木技術、電気技術、幼稚園教諭、保育士 ※7月27日(日)に実施した職員採用資格試験（第一次試験）に合格した人を除く

募集人員：各職種若干名

第一次試験日：9月21日(日)

申込書：8月11日(月)以降、人事研修室の窓口および市ホームページで交付します。

※郵送請求も可能です。

申込期間：8月18日(月)～9月5日(金)※土・日を除く

午前8時30分～午後5時15分

申込書は人事研修室に受験者本人が持参してください。

マンション管理セミナー＆ 無料相談会

建築住宅室 ☎0557(86)6425

静岡県、熱海市、NPO法人静岡県マンション管理士会の主催により、マンションでの生活や良好なコミュニティ作り、施設の管理維持などに関するセミナーと無料相談会を開催します。

相談会は申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせください。

日時：9月18日(木)

午後1時30分～4時30分

場所：起雲閣音楽サロン

下記の部分はお店・企業の広告枠です。



特定疾患見舞金の申請

障がい福祉室 ☎0557(86)6335

熱海市では、「特定疾患療養者」または「被爆者健康手帳の交付を受けている人」に対し、年1回お見舞金（年額2万円）を支給しています。該当する人は障がい福祉室へ申請してください。

詳細についてはお問い合わせください。

申請に必要なもの：「特定疾患医療受給者証」または「被爆者健康手帳」、預金通帳(本人名義)、印鑑

水道・温泉メーター取り替え

水道温泉課工務施設室
☎0557(86)6505

各家庭に設置している水道メーターは、計量法で検定有効期限が8年と定められています。

平成27年2月末までに、熱海市が「熱海管工事工業協同組合」に業務を委託して、有効期限満了に近づいている水道メーターの取り替えを行います。

取り替え作業中、断水などのご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いします。

◇作業従事者は、名札・腕章を着用します。

◇取り替え作業が完了したら、取り替え従事者を記入した通知をポストなどに入れておきます。

◇費用の負担はありません。

◇市営温泉の温泉メーターについても、同様の作業となります。

※詳細は電話または市ホームページにてご確認ください。

秋季ハッピートリム教室

参加者募集

スポーツ推進室 ☎0557(86)6603

体力の向上、健康増進を図り健康で明るい生活を送るため、市民を対象に手軽にできる体操教室を開催します。

内容：リズムムーブメント・ストレッチングなど

講師：山田たつ子・横川さだみ

場所・日時

南熱海マリンホール

9月、10月の毎週火曜日

(9月23日(祝)を除く)

午前10時～11時30分

福祉センター体育室

9月、10月の毎週木曜日

【前半】午前9時30分～11時

【後半】午前11時～12時30分

定員：南熱海マリンホールは人数制限なし。福祉センターは前半・後半各40人。

参加費：1,000円（保険料含む）

持ち物：体操ができる服装、上履き、タオルなど

申込期限：8月29日(金)

申込方法：スポーツ推進室の窓口までお申し込みください。電話やメールでも可能です。

静岡県立沼津技術専門校

生徒募集

沼津技術専門校 ☎055(925)1071

県立沼津技術専門校では、平成27年度生の募集を実施します。

高い就職率と豊富な最新設備を誇る沼津技術専門校で、技術・技能を身につけませんか。

出張年金相談のお知らせ

三島年金事務所による、出張年金相談を次の日程で開催します。年金の受給に関する相談や遺族年金の請求手続きなどがありましたらご利用ください。

なお、利用の際は事前の予約が必要です。

日時：10月8日(水) 午前10時～11時30分
午後1時～2時

場所：熱海市役所第一庁舎4階第1会議室

予約・問い合わせ：保険年金室 ☎0557(86)6260

旬人

Vol. 5

熱海高校陸上部

わたなべ かな
渡邊 香奈さん (左)

熱海高校ヨット部

ひとすぎ えり
仁杉 衣里さん (中央)

おおかわ ちはる
大川 千晴さん (右)



円盤投げの渡邊さん、ヨットFJ級の仁杉さんと大川さんペアは、静岡県大会、東海大会と勝ち進み、8月に開催された全国高校総合体育大会への出場を勝ち取りました。渡邊さんの陸上部投てき種目での全国大会出場や、ヨット部ペアの昨年度に引き続いての全国大会連続出場は、ともに創部以来初となる快挙です。記録を更新するために、たゆまぬ努力を重ねて勝ち進んできた彼女たちはまさに旬の人です。

市長メッセージ
83
この8年を振り返って

熱海市長 齊藤 栄



熱海市長に就任して、この9月で2期目の任期が終わります。8年間を振り返って感慨深いことの一つに新庁舎の完成があります。市政の長年の懸案だった市庁舎の建て替え問題でしたが、就任時点で決まっていた建設計画を白紙に戻し、新たな計画によってこの4月に完成しました。完成するまでの間は、「今大地震が起き、人命にかかわることがあったら市長はどう責任を取るのだ」と常に批判にさらされました。新庁舎での業務がスタートした夜は、「これで職員や来庁者の安全安心を確保できる。これまでの苦しみからやっとなんか解放される」と市長就任以来、初めて枕を高くして眠ることができました。

感慨深いもう一つのは、子どもたちの成長です。先日、こがし祭りのお囃子の練習を見ていた際に、あるお母さんから「市長、覚えていますか？卒園式のビデオメッセージをお願いした息子が、今年中学一年生になりました」と声をかけられました。勇壮に太鼓をたたく彼は、この4月に開校した新生熱海中学校に通っており、「ビデオメッセージのことはしっかりと覚えていきます」と言ってくれました。自分が市長をしている年月で子どもたちはこんなに成長していたのです。

財政再建の我慢の5年間。「元氣な経済」と「豊かな暮らし」に力を入れながら、3年前に「新生熱海」を掲げました。熱海市にとってこれからは、今後大きく発展できるかどうか大切な時です。

来月の本欄は、都合によりお休みさせていただきます。

9月 September

マークの説明

■施設休館日

- ☒☒ 図書館休館日 ☎0557(86)6591
- ☒☒ 起雲閣休館日 ☎0557(86)3101
- ☒☒ 熱海港海釣り施設休館日 ☎0557(85)8600
- ☒☒ マリンスパ休館日 ☎0557(86)2020

■市民相談 市民相談室 ☎0557(86)6073

行政相談 13:00～15:00

法律相談(予約制) 13:00～16:00

消費生活相談 13:00～16:00

建築相談(予約制) 13:00～16:00

人権よろず相談 13:00～16:00

交通事故相談(予約制)10:00～15:00

■福祉関係相談 障がい福祉室 ☎0557(86)6335

身体障がい者相談会 9:30～11:30

知的障がい者相談会 10:30～12:00

精神障がい者憩いの場「ぶらむ」13:00～16:00

障がい者就労支援相談 10:30～12:00

身体障がい者「何でも相談」13:00～15:00

精神障がい者相談会 10:00～12:00

高次脳機能障がい相談(予約制)10:00～12:00

■福祉関係相談

熱海健康福祉センター ☎0557(82)9120

こころの健康相談(予約制) 13:30～15:00

9月のブックバスかもめ号

実施日	ステーション	時間	
2日(火)	網代小学校	13:15～14:15	
16日(火)	大縄公園	14:45～15:30	
3日(水)	海光園	13:00～13:30	
	スルガケアサービス	13:45～14:15	
	上多賀会館	14:30～15:00	
17日(水)	多賀小学校	15:15～16:00	
	泉小中学校	13:00～13:35	
4日(木)	泉支所	13:50～14:20	
	18日(木)	桃山小学校	15:10～16:00
	5日(金)	伊豆山中央バス停横	10:00～10:30
19日(金)		マルコン 酒店横駐車場	10:45～11:15
七尾団地集会場		13:15～13:45	
伊豆海の郷前		14:00～14:45	
伊豆山小学校	15:00～16:00		
9日(火)	第二小学校	12:30～13:30	
10日(水)	ひばりヶ丘団地下駐車場	10:00～10:50	
	24日(水)	第一小学校	13:00～13:40
	緑が丘公園	14:00～14:35	
相の原団地バス停上駐車場	15:00～15:35		
11日(木)	多賀中学校生徒正面玄関前	12:40～13:30	
25日(木)	12日(金)	熱海中学校	12:40～13:30
26日(金)			

◇市役所(代表) ☎0557(86)6000

◇南熱海支所 ☎0557(68)2151

◇泉支所 ☎0465(62)2335

◇エコプラント姫の沢 ☎0557(82)1153

◇南熱海マリナーズ ☎0557(68)4778

■火災情報・救急当番医の情報は

火災・救急テレホンサービス ☎0557(81)9911

■学校・家庭・心の問題などの相談は

ふれあい電話相談 ☎0557(81)8080

各種相談日

施設休業日

1(月)	消身		☒☒
2(火)	高	◆乳幼児相談(いきいきプラザ) 9:30～11:30 ●0歳児サークルアイアイ(南熱海マリナーズ) 10:00～11:00 ◆7～8カ月児相談(いきいきプラザ) 13:00～15:00 ●夜間エイズ検査 ※予約制(熱海保健所) 17:00～19:45	
3(水)	行		☒☒
4(木)	法	●製本教室(図書館) 9:30～15:00 ●熱海子育て支援センター「シールで遊ぼう」(栄光熱海中央保育園) 10:00～11:00	
5(金)	心		
6(土)		●おはなし会(図書館) 14:30～15:00	
7(日)			
8(月)	消人 知函 精	源実朝を偲ぶ仲秋の名月伊豆山歌会 (ハートピア熱海) 14:00～(伊豆山神社) 18:30～	☒☒
9(火)		●熱海子育て支援センター「おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう」(栄光熱海中央保育園) 10:00～11:30	
10(水)	交		☒☒
11(木)	法	●製本教室(図書館) 9:30～15:00	
12(金)		●にこにこサロン「おたのしみ会」(親子ふれあいサロン) 10:30～11:00	
13(土)		ながはま特設市(長浜海浜公園) 9:00～15:00 ※15日まで	
14(日)		熱海市総合防災訓練(市内各所) 日曜朝市(渚小公園) 7:00～11:00 ●朗読会(図書館) 13:30～14:10	
15(月)		敬老の日 秋季熱海海上花火大会(熱海湾) 20:20～20:45	☒☒ ☒☒
16(火)	建	◆乳幼児相談(いきいきプラザ) 9:30～11:30 ◆1歳歯磨き教室(いきいきプラザ) 10:00～11:00 ●読み聞かせ(南熱海マリナーズ内なかよしルーム) 11:00～11:30	
17(水)	行	◆3歳児健診(いきいきプラザ) 13:00～14:00	☒☒
18(木)		●エイズ検査・肝炎検査 ※予約制(熱海保健所) 9:00～11:15 ●製本教室(図書館) 9:30～15:00 ◆1歳6カ月児健診(いきいきプラザ) 13:00～14:00	
19(金)		●熱海子育て支援センター「はいはい・よちよち運動会」(栄光熱海中央保育園) 10:00～11:00	
20(土)		ながはま特設市(長浜海浜公園) 9:00～15:00 ※23日まで アタミアロハフェスティバル2014(親水公園) 13:00～20:50 ※21日まで ●おはなし会(図書館) 14:30～15:00	
21(日)			
22(月)	消人 障		☒☒
23(火)		秋分の日	☒☒
24(水)			☒☒
25(木)	法	●製本教室(図書館) 9:30～15:00	
26(金)		●にこにこサロン「石田さんおはなし会」(親子ふれあいサロン) 10:30～11:00	☒☒
27(土)		ながはま特設市(長浜海浜公園) 9:00～15:00 ※28日まで 熱海HISTORICA G.P.(長浜海浜公園) 11:00～15:00	
28(日)		日曜朝市(渚小公園) 7:00～11:00 熱海HISTORICA G.P.(熱海観光港周辺) 10:30～14:30	
29(月)	消何		☒☒ ☒☒
30(火)			☒☒

■□は各種相談会の開催日です。また、☒■は施設の休館日です。相談会の種類、時間、場所および休館施設名は頁左側の「マークの説明」をご参照ください。

あたま湯ったり ART FESTIVAL 2014

この秋、熱海はアートで染まります
日本一遅い紅葉に豊かな温泉、自然がおりなす景観美、海の幸に山の幸、美術館とレトロな街中で繰り広げられる芸術祭に音楽祭…
秋の熱海は、ちょっとステキに彩られます
「あたま湯ったりアートフェスティバル」

それはいつもとは違う、いつもは気付かない意外な熱海を、ゆったりと楽しんでいただくための「合い言葉」です

会期：2014年9月13日(土)～12月24日(水)

※企画によって、開催日、開催時間、開催場所、雨天時の対応などが異なりますので、ご注意下さい。



MOA 美術館
第19回
MOA岡田茂吉賞



あたまアートフェア



おさかな
フェスティバル



A-PLUS フェア



MOA 美術館
アート&ミュージック
ライブコンサート



ストリートライブ

ART FOOD MUSIC

【主催】あたま湯ったり
アートフェスティバル実行委員会

<http://yuttari-art.net>

観光推進室 ☎0557(86)6195

あたま湯ったりアート

納期のお知らせ

9月1日(月)

- | | |
|----------------------|-----|
| ■市民税・県民税 | 第2期 |
| ■別荘等所有税 | 第2期 |
| ■国民健康保険税 | 第2期 |
| 【納税室】☎0557(86)6165 | |
| ■介護保険料 | 第3期 |
| 【介護保険室】☎0557(86)6282 | |
| ■後期高齢者医療保険料 | 第1期 |
| 【保険年金室】☎0557(86)6257 | |
- 納付には、便利な口座振替をご利用ください。

開閉式の防潮扉を常時閉鎖します

東日本大震災の津波襲来時に、水門・陸こう(開閉式の防潮扉)の閉鎖作業を行う多くの現場作業員が犠牲となりました。この教訓を踏まえ、静岡県では陸こうの常時閉鎖化を推進していることから、ムーンテラスに整備した熱海港渚第一陸こう(写真)を原則常時閉鎖します。



閉鎖日時：9月16日(火) 午前10時

問い合わせ：熱海土木事務所用地管理課☎0557(82)9166



熱海市メールマガジン <http://www.city.atami.shizuoka.jp/mailmagazine/> 広報あたまラジオ放送 F M熱海湯河原79.6MHz

広報あたまは再生紙を使用しています。